

# クジラムシを探せ!

カメムシやアリジゴクはそれぞれの地方でとても親しまれている生物なので、それぞれの地域に特有の名前（地方名）がついています。地方名には、その生物の体や行動の特徴がよく現れており、生物をよく観察するために活用することができます。

## ねらい

生物の名前に関心を持つてみるができるようになる。あるいは、自ら生物名をつけることができるようになる。

## 達成目標

- ・生物にはいろいろな地方名があることを知る。
- ・地方名と生物との関係について、自分の意見を持つことができるようになる。



## 導入

参加者の興味を引く方法として、方言に関する話で切り出すのもよい。ワークシートの上段にある言葉（ある種類の生き物について、地方によってこのようにいろいろな名前と呼ばれている）に目を通してもらう。

## ふりかえり・わかちあい

地方名と実物との関係について話し合う。また、一連の活動を通して気づいたこと、感じたこと、一般化できそうなことについて話し合う。

## 本体

ワークシートの流れに沿って「実物を探す前」の作業をする。その後、実際に言葉を見ての予想だけで生物を探す。みつけた生物を紹介し合う。最後に、種明かしをし、よく観察して「探した後」の所に書き込む。

## まとめ

地方名がたくさんついている生物は、各地でよく親しまれている生物であることを伝える。生物の通常呼ばれている（標準和名の）生物名について改めて見直すことで、今までの生物への親近感とどう違うか意識することを伝える。

## 実施のポイント

必ず下見をして、湿り気のある石の下などにこの生物（ゾウリムシあるいはワラジムシ）がいることを確認しておこう。

- ◆所要時間 60分
- ◆人数 5~40人
- ◆関連教科等 総合的な学習の時間、理科、図画工作
- ◆焦点を当てる能力 想像する、描く、観察する、結びつける
- ◆準備するもの ワークシート、筆記用具
- ◆安全のポイント 活動の範囲や集合場所、危険な場所について、明確に伝える

## 評価の視点

生物と地方名について、あるいは生物の名前についての関心生まれること、興味がさらにさまざまなもの名前に関心に広がること、名前に関して調べてみたいテーマが見つけれられることなどに注目したい。

## 発展・応用

アリジゴクなど、他にもたくさんの地方名を持っている生物がいる。下の文献を参考にして、自らプログラムをつくってみよう。

## 参考文献

「虫と遊ぶ 虫の方言誌」 齋藤 真一郎 著  
萩原 裕作 氏のオリジナルプログラム（コテコテばあさんを捜せ）をアレンジして掲載

# クジラムシを探せ! 26

★1種類の生きものが、こんなにたくさんのお名前と呼ばれています。

アンズムシ	エンノシタムシ	ガンヤクムシ
クジラムシ	スグリムシ	タイヤムシ
タグムシ	タマコムシ	チョウチンムシ
デゴムシ	ベンジョムシ	ヨロイムシ

## <さがす前>

① どんな生きものをさしているのか  
そうぞう か  
 想像して絵を描いてみましょう。

② どこにいると思いますか？

③ どの呼び名が決め手になりましたか？ その理由は？

## <さがした後>

④ 足は何本ありますか？

⑥ 何を食べているのでしょうか？

⑤ 何の仲間でしょうか？  
なかま

⑦ その他観察したことを書いておきましょう。  
かんさつ

年 月 日 名前